

大谷幼稚園 11月のおたより

「成道会おゆうぎ会」に向けて 園長 たなか たかあき 田中 貴章

大谷幼稚園の保護者の皆さま、関係者の皆さま、こんにちは。園長の田中です。最近、めっきり寒くなってきましたが、保護者の皆さまはいかがお過ごしでしょうか。ことわざで「子どもは風の子 大人は火の子」と言いますが、お子さま達は、この寒さの中、とても元気に外あそびをしています。一方、保育室やホールではおゆうぎ会に向けてダンスに取り組んでいます。大谷幼稚園のおゆうぎ会はお釈迦さまの成道のお祝いとして行います。今から3,000年ほど昔、お釈迦さまは、35歳になられた12月8日、空に明けの明星が輝く時に、菩提樹(ぼだいじゅ)の木の下で、さとりを開



かれました。これを「成道(じょうどう)」と言って、私達が本当に意義のある人生を歩む道が成立したこととしています。そして、その道は多くの人々によって受け継がれて、今に生きる私達にまで届きました。そのことを、うれしいことと受けとめ、みんなでお祝いの会を行っています。それが「成道会(じょうどうえ)」です。大谷幼稚園では、港南公会堂で「成道会おゆうぎ会」を行い、その後12月14日にも成道会のお祝いの式を園内で行います。お釈迦さまは「1人ひとりが大切にされる毎日」「2度と来ない今を大切に作る毎日」「悩み、迷いながらも成長できる毎日」「1人ひとりの成長を見つめる毎日」「友だちと共に大きくなっていく毎日」を生きていくことが、人間として大切なことと教えてくださ

っています。「成道会おゆうぎ会」に向けて各保育の取り組みをみているとお釈迦さまがおっしゃられた大切なことの実践があることに気付きました。お子さまがお友達との生活や遊びの中で、認められたり、必要とされることにより、他者と生きている実感が蓄積されていきます。これこそが「子どもの社会」の基礎だと思うのです。「成道会おゆうぎ会」に向けて取り組むことにより、もっとお釈迦さまがおっしゃられた大切なことに繋がるように、またそれを感じられる、そんな保育の実践を考えていきたいと思っています。



上：お店屋さんごっこ 下：カプラでキリン

10月のお誕生会

交通安全教室

